

平成 30 年度 JERT 主催「救急撮影講習会 in 札幌」参加報告記

国立病院機構 北海道医療センター 放射線科

稲尾 はるか

救急撮影講習会 in 札幌「be Ambitious! ~北国の診療放射線技師たちへ~」は平成 30 年 7 月 22 日、札幌医科大学付属病院にて開催されました。初めてこの講習会に参加させていただきましたが、それぞれ熱のこもった講演であり、それが知りたかったのだと言いたくなる講習会でした。

救急医療に携わる看護師、薬剤師の方々のお話には新たに気づかされることばかりでした。看護師の方々は日常仕事をしていて関わることも多いですが、具体的に仕事内容や心がけていることを伺う機会はほぼありませんでした。いろいろな場面におけるお話を聞けば、各検査時の心がけや注意点が変わってくると感じました。薬剤師の方々は直接の関わりが少なく、今回お話を聞いて新しい風が吹きました。普段から 1 人の患者に起きていることを繋げて考えられるように努めておりますが、薬剤の知識があるとそのように考えるのかと驚きました。臨床工学士の方のご講演や JRTEC と各モダリティの撮影手技についてのご講演では臨床でよく遭遇することを具体的にお話くださり、その日から使えるポイントがたくさん盛り込まれていました。放射線技師としての頭の使い方を多く学んだのと同時に、これからの知識欲に繋がりました。随所に施設の違いも垣間見えて大変興味深かったです。特別講演では頭部外傷診療ガイドラインに沿って検査実施の基準を示してくださり、症状や受傷機転と検査の繋がりを教えていただきました。患者の緊急度や重症度を理解し、検査に求められることを理解するにあたってとてもすてきなお話でした。

やはり救急に携わる方々は広く様々なポイントを見ていますし、1 人の患者に起きていることを繋げて考えられるだけの知識があるのだと感じました。私もその一員になれるよう努力を重ねたいと思います。最後に、このような素晴らしい機会を創り上げてくださった皆様に感謝を申し上げます。

平成 30 年 7 月吉日

